

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホームかえで
日付	平成18年2月10日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年、介護支援専門員歴3年 特別養護老人ホームでの認知症高齢者介護歴5年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
・バス利用もしやすく、買物や外出に便利な住宅地域内に建てられており、玄関は一般家庭の建物と変わらず、入りやすい雰囲気を感じます。
・玄関が施錠されておらず自由に出入りができ、開放感があります。入居者は玄関前においてあるイスに座り、ひなたぼっこをしたり近隣者との語り合いが見られました。
・入居者同士は仲が良く、入居者と職員との人間関係も良く、協力しあいながら笑顔のある穏やかな生活ができています。
・昨年の外部評価の要改善項目に積極的に取り組まれ、入居者も家族も参加して改善されていました。
・管理者はじめ職員はケアの質の向上やホーム運営に意欲的であり、積極的に研修に参加し、更なるレベルアップを目指すために話し合ったことを自主評価項目に記述し、記録として残しています。
・家族アンケートを実施して、改善のための意見や要望の積極的な取り入れをしています。
・記録物が一連の流れになっており、詳細な検討ができるように配慮されています。
特に改善の余地があると思われる点
・地域との交流については、向う三軒両隣の交流はできています。ホーム側としては、今後、入居者の生活の範囲を広げ、楽しみを増やす試みとして、町内の活動に参加することを考えておられました。実現に向けての取り組みを期待したいと思います。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	<p>・「個々の能力を生かした温かいケア」の基本理念に沿って、一人ひとりの生活のペースを大切に、それぞれの力が生かせる生活の提供をめざしています。</p> <p>・感染症の予防のために、入居者や職員だけでなく、訪問者にも手洗いうがいの励行を促し、入居者の健康管理と清潔な生活環境の提供を心がけています。</p>		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	心身機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
	<p>・これまでの生活を尊重し、入居者一人ひとりの持っている力を引き出し、その人らしい生活ができるような環境を提供できるように職員一人ひとりが心がけています。</p> <p>・居室への出入りには必ず声かけやノックをしています。ノック後も、必ず一呼吸おいてから、入室するようにしています。</p> <p>・入居者が居室内からも施錠することができます。</p> <p>・個人情報保護についての勉強会や話し合いを行い、入居者への面会や電話での問い合わせについては気をつけて、必ず家族とよく連絡を取るようになっています。</p> <p>・記録物は施錠のできるロッカーや引出しの中に保管され、外部の目に触れないようにしています。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	<p>・入居者の気持ちを全面的に受け入れ、否定しないで支援する事を大切にしています。</p> <p>・家に帰りたと言われる入居者には、ユニット同士で協力しあいながら、その入居者が納得されるまで職員と一緒に出かけようとして支援しています。</p> <p>・入居者と家族とのふれあいを大切にすることが、入居者の落ち着きにつながっているため、家族の面会が多くなるように家族に働きかけています。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>・関連機関内での研修や勉強会に参加し、グループホーム本来の目的である「認知症のケア」について、職員の知識向上をめざしています。今後は、外部の研修にも積極的に参加し、さらなる職員のレベル向上を考えています。</p> <p>・ヒヤリハット事例報告書は、事例ごとに「環境」・「装置」・「作業方法」・「自分自身」の四点より問題点を考察できるようになっており、対策について多面的に検討され、事故防止に役立てられています。</p> <p>・避難訓練が3カ月ごとに行われ、災害や緊急時のマニュアルも整備されており、安全な生活環境の提供に心がけています。</p>		